



### うれしい春の一日

今、山梨は桜に桃、スモモ、そして菜の花も彩を添えて、果樹を中心に花、花、花の見事な景観を織りなしている。まさに春たけなわで、この週末は集落の春祭りも行われる。コロナで縮小しながらも、神輿を先頭に笛を鳴らしながらの古式ゆかしい行列が予定されている▼少し遡った3月の27日、東京からの親子20人ほどでジャガイモの植え付けを行った。コロナ以前は1泊2日の合宿方式で、子ども中心に田舎体験教室として開催してきた。それを去年、今年は止む無く、親子による日帰りに。午前10時にJR塩山駅に集合し、午前中にジャガイモの植え付けを行い、その後は火を焚いて皆でカレーライスを作ったの昼食。昼食後は、子どもたちは神社までの坂道を走ったり弓矢等を使った遊び、大人は散歩したり、おしゃべりしたりと各々自由行動。3時前に片付け・掃除をしてJR塩山駅に移動し、3時半ごろに解散。「山梨の空は東京の空と違う」「山梨は楽しい」との子どもの声がうれしかった▼もう一つ、カレーライスを作っている最中に、「Yです。お久しぶりです」という突然の来客。そういえば10年程前、同じ職場の後輩が山梨に移住してブドウづくりを始めたと連絡をいただいていたが、そのY君であることを思い出した。わずか5分ほどの立ち話ではあったが、少しずつ面積を広げ、今では体験教室の場所の近くにある畑も含めて90aを経営しているという。効果のない農薬等の使用を止めるなど経営の効率化をすすめ、昨年の年間所得は290万円だったという。マスクしながらも、すっかり日焼けして、たくましい自立経営農家の出現に驚いたが、うれしい来訪でもあった▼コロナ禍にウクライナ侵攻等暗い話しばかりの昨今ではあるが、久方ぶりに「希望の春」を感じることできたい一日であった。

(土着菌)